

地域ケア会議 NEWS☆LETTER

発行：小諸市地域ケア推進会議事務局（小諸市高齢福祉課・小諸市社会福祉協議会）

令和8年度 第1回地域ケア推進会議を開催！

今年度第1回地域ケア推進会議・生活支援体制整備推進会議が、5月26日に開催されました。

新たに委員になった方もいたため、顔合わせと、この会議の目的や進め方を共有しました。

また、地域ケア推進会議として「身寄りのない住民への支援」、生活支援体制整備推進会議として、「有償生活支援サービスの仕組みづくりに向けて」を報告し、検討しました。

改めまして…地域ケア推進会議・生活支援体制整備推進会議とは？

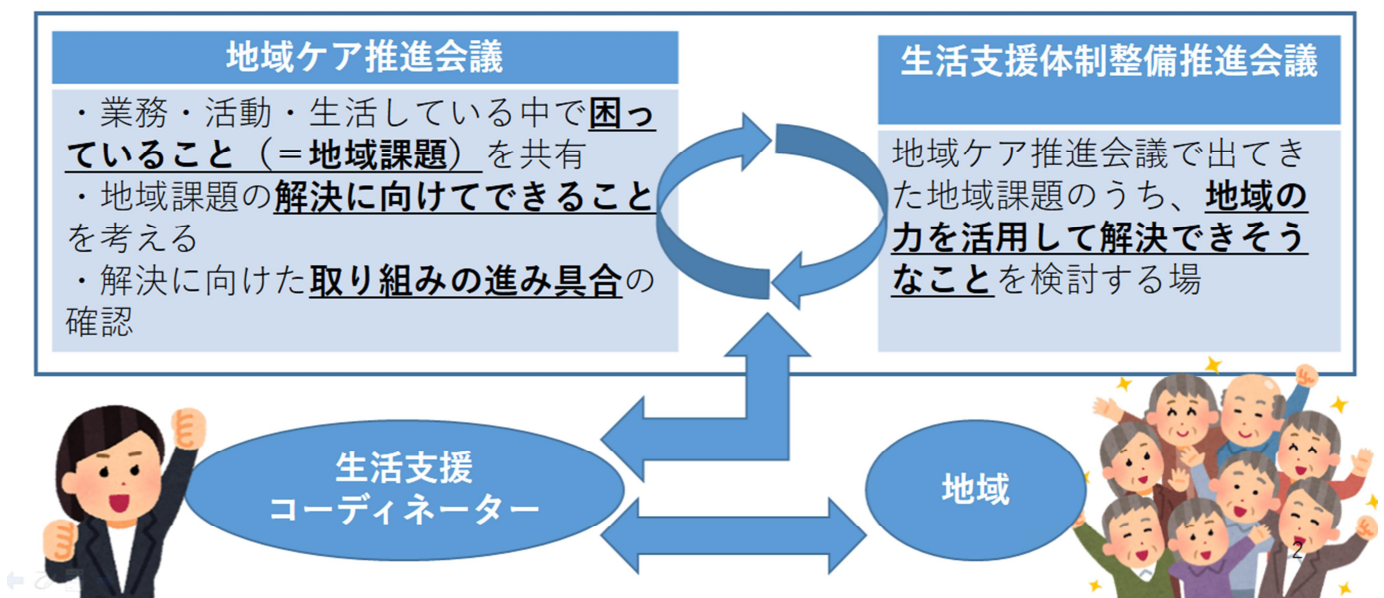
地域ケア推進会議・生活支援体制整備推進会議は、市民・医療・介護・福祉・行政の代表者が、日頃の業務や活動、そして生活の中で困っていることを共有することから始めます。この困っていることを『地域課題』と呼んでいます。

地域ケア推進会議では、共有した『地域課題』の解決に向けてできることを考え、解決に向けた取組みの進み具合を確認します。

また、生活支援体制整備推進会議は、地域ケア推進会議で出てきた『地域課題』のうち、地域の力を活用して解決できそうなことを検討する場です。

このように、2つの会議は、重なる部分も多いため、一体的に実施しています。

また、この会議の意見や内容を地域につなぐ役割を担っているのが、生活支援コーディネーターです。



☆☆『地域課題の種』募集中☆☆

「運転免許を返納して外出に困っているけど、みんなはどうだろう？」「身寄りのないひとり暮らし高齢者が増えているけど、何かあった時、誰に相談すればいいのだろうか？」等、皆さんの周りにも様々な困りごとを抱えている人はいませんか？そのような声が、この会議で取り上げる『地域課題』になるかもしれません。

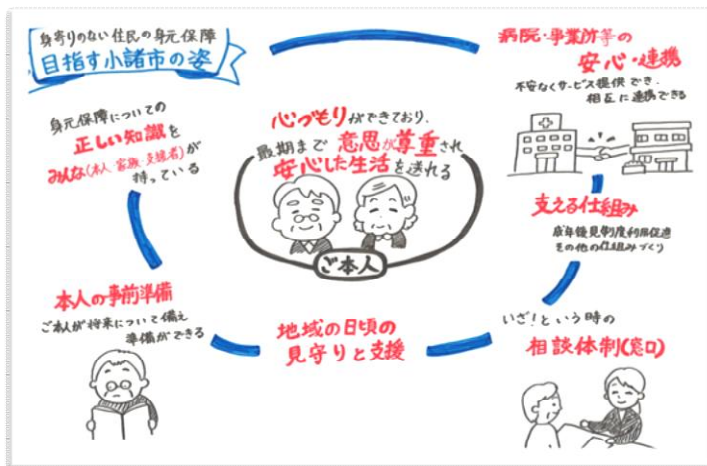
『地域課題』になるかもしれない困りごとを、『地域課題の種』と呼んでいます。「『地域課題の種』になるかな？」と思うことがあれば、小諸市役所高齢福祉課（電話 0267-22-1700）までお寄せください。お待ちしております。

身寄りのない住民への支援について

小諸市では、これまで、身寄りのない住民への支援を進めてきました。

ご本人が、「心づもりができており、最期まで意思が尊重され安心した生活を送れる」小諸市を目指して、様々な取り組みを行っています。

会議では、現在の取り組みを紹介しました。今年度は、改めて課題や現在の取り組みを整理して、さらに必要な支援について検討していきます。



有償生活支援サービスの仕組みづくりに向けて

高齢者の「ちょっとした困りごと」を解決する住民同士の支え合い＝有償生活支援サービスの仕組みづくりを進めています。この仕組みの対象とする「ちょっとした困りごと」は、掃除・荷物の運搬・灯油入れ・ごみ出しです。現在は、生活支援コーディネーターが中心となり、本格的な実施に向けて、試行を続けています。取り組み内容は以下の通りです。

試行区への働きかけ

- ・試行区（東区・新町区）の介護予防教室等で説明
- ・地域包括支援センターと連携

協力者集め

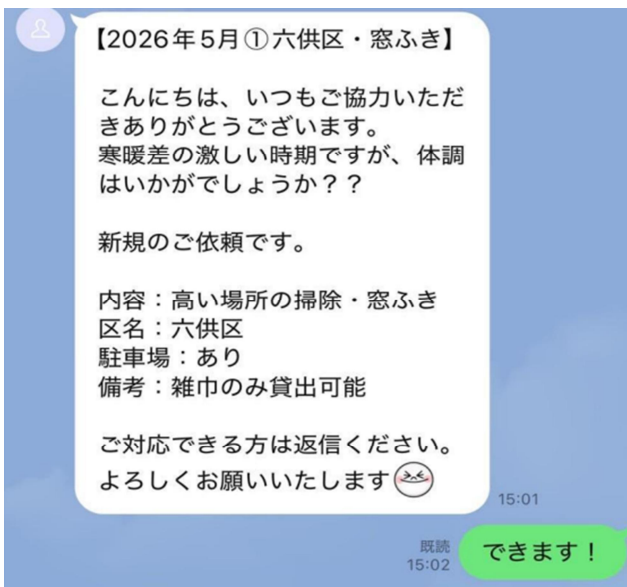
- ・住民同士の助け合いに興味・関心のある方への声かけ
- ・協力者募集のチラシ作成

仕組みづくり

- ・サービスについてのマニュアル作成
- ・依頼者（手伝ってほしい方）と協力者（お手伝いができる方）のマッチング機能（依頼者と協力者を結びつける）は公式 LINE を活用

会議では、グループワークでマッチング機能として利用する公式 LINE の体験を委員の皆様にしていただきました。体験後は、グループで意見交換を行いました。

↓グループワークで出た意見（一部抜粋）



個人情報の取り扱いについて事前に誓約書などあった方が良い

トラブル時の対応はどうする？

調整中の依頼内容が画面上に残るようにできないか？

作業箇所について詳細が知りたい

↑公式 LINE の画面

今後は、意見交換の内容も踏まえ、マニュアルを整備し、有償生活支援サービスの試行を継続し、本格実施を目指します。

住民同士で支え合える小諸市を目指して、取り組みを続けていきます！！

